

今起きている 短歌ブームとは

〜 令和に繋げ！ 短歌の里ふるさとしおじりの未来

短歌ブームと言われている昨今ですが、30年ほど前に短歌ブームを作った「短歌の里ふるさとしおじり」は衰退してきています。

今回の企画展を通して今の「短歌ブーム」を知り、もう一度短歌のふるさとに新たな風を起こそうではありませんか。

展示「短歌ブームとは」

令和6年5月3日(金・祝)
～7月7日(日)

現代の短歌ブームについて解説し、歌集や短歌結社誌を紹介します。

みんな集まれ！

短歌館にて短歌による交流会を行います。

短歌愛好者のつどい① 5月26日(日)
短歌が初めての方 6月15日(土)
短歌愛好者のつどい② 7月6日(土)



今起きている
短歌ブームとは
〜令和に繋げ！
短歌の里ふるさと
しおじりの未来〜

近年「短歌ブーム」と言われています。SNS上での盛り上がりや新鋭歌集の出版などが新聞やテレビなどのメディアで取り上げられ、気軽に短歌を始める人が増えてきています。

そして今、従来の歌壇では、新たな読者や歌人を増やす動きが起きています。

一方、「短歌の里ふるさとしおじり」という街づくりは、市民運動としては約50年前から、塩尻市としては約35年前から行われてきました。塩尻市は太田水穂、島木赤彦、若山喜志子ら近代歌人ゆかりの地です。この地に多くの地域歌人や短歌愛好家が集い、短歌づくりに邁進してきました。

しかし近年、塩尻市や松本平で短歌愛好家が減少しています。

そこで今回の企画展では、近年全国で起きている「短歌ブーム」やそれを取り巻く歌壇の現状を展示で紹介し、また、実際の交流会を通して、ここ「短歌の里ふるさとしおじり」から新たに短歌愛好家を増やしていく試みを行います。

今だに多くの方々に付きまとう「短歌は難しい言葉を使う」「短歌は風流でなければいけない」「短歌は季語が必要」などの思い込みを払拭して、一人でも多くの短歌愛好家が、ここ「短歌の里ふるさとしおじり」から新たに生まれることを期待して、今回の企画展を行います。

期間 令和6年5月3日(金・祝)～7月7日(日)
時間 午前9時～午後4時半
休館日 月曜日、祝日の翌日(5/7(火))
場所 塩尻短歌館
〒399-0706 塩尻市広丘原新田 288-1
TEL 0263-53-7171
入館料 300円、中学生以下無料

展示内容

現代の短歌ブームに関する解説、歌集、短歌結社誌

- ・X(旧Twitter)が広げた短歌の世界
- ・近代短歌から現代短歌へのあゆみ
- ・「短歌の里ふるさとしおじり」の昔といま

特別企画

未来につなごう短歌交流会 in 短歌館

短歌愛好者のつどい ①

日時：5月26日(日) 10時～12時

場所：塩尻短歌館

対象者：短歌会等で短歌づくりをしている方、または本格的に短歌を始めたい方

内容：近隣の歌人愛好者との短歌会を行い、交流を図る

短歌をやってみたい人、集まれ！

～目指せエモい歌！ 短歌で楽しもう～

日時：6月15日(土)13時半～15時半

場所：塩尻短歌館

対象者：短歌を作ったことがない方、または気軽に短歌を作ってみたい方

内容：気軽に短歌づくりをしながら、新たな交流を楽しむ

短歌愛好者のつどい ②

日時：7月6日(土) 10時～12時

場所：塩尻短歌館

対象者：今までの参加者、および新たな参加者

内容：新しい人も交えた短歌会で、交流を図る

特別企画の申込みは、下のQRコードを読み込んでいただくか、直接短歌館へお電話ください。

